

J. A. C. E. T.

社団法人

日本臨床工学技士会 会誌

No. 19 2003

Journal of Japan Association for Clinical Engineering Technologists

(社)日本臨床工学技士会

平成15年

第13回日本臨床工学会論文集(1)

- 臨床工学技士実態調査の結果報告
- 第2回日本臨床工学技士教育研究会“臨床工学技士の臨床実習を考える”開催報告



第13回日本臨床工学会 および 平成15年度(社)日本臨床工学技士会総会

会 期 平成15年5月24日(土)・25日(日)
会 場 グランキューブ大阪(大阪国際会議場10階)
大阪市北区中之島5丁目3番51号
主 催 社団法人日本臨床工学技士会 大阪府臨床工学技士会
後 援 大阪府、社団法人大阪府医師会、社団法人大阪府看護協会、社団法人大阪府放射線技師会、社団法人大阪府薬剤師会、社団法人大阪府歯科医師会、社団法人大阪府臨床衛生検査技師会、社団法人大阪府理学療法士会、大阪府作業療法士会、社団法人大阪府栄養士会、社団法人大阪府病院協会、日本手術医学会、日本医療器材工業会、社団法人日本呼吸器学会、社団法人日本エム・イー学会、日本心臓血管外科学会、社団法人東京都看護協会、日本医科器械学会、日本医工学治療学会、社団法人電子情報技術産業協会、日本集中治療医学会、日本救急医学会、社団法人日本透析医学会、社団法人日本腎臓学会、日本移植学会、社団法人日本麻酔科学会、日本人工臓器学会、日本医療機器関係団体協議会、社団法人日本透析医会、社団法人日本病院会、財団法人医療機器センター、社団法人日本循環器学会、日本心臓病学会、日本胸部外科学会、日本医用機器工業会、日本臨床工学技士教育施設協議会(順不同)

学会長 吉井 幸誠

(大阪府立病院 臨床工学機器室)

特別講演

『DRG(包括支払い)施行後の米国の変遷』

エドワーズ・ライフサイエンス株式会社 社長 王 惠民 先生

招請講演

『今後の病院経営をめぐる課題』

国立保健医療科学院経営科学部 西村秋生 先生

教育講演

『透析医療における臨床工学技士のあり方』

大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 土田健司 先生

『再生医療』

大阪大学臨床遺伝子治療学教授 森下竜一 先生

市民公開講座

『医療事故防止の取り組み』

医真会八尾総合病院 副院長 浦上秀一 先生

『生命倫理から考える医療過誤』

京都大学 名誉教授 星野一正 先生

シンポジウム: 病院経営の今後のあり方

ワークショップ: リスクマネジメントへの取り組み
水質管理の新しい取り組みに向けて
診療報酬改訂に伴う臨床工学業務の再構築

● 一般演題: 101 題

○学会事務局: 大阪労災病院 臨床工学室内 〒591-8025 大阪府堺市長曾根町 1179-3

TEL: 072-252-3561 FAX: 072-250-7540 E-mail: osakace@osk2.3web.ne.jp

○学会事務局長: 吉田 靖

第13回日本臨床工学会論文集

● シンポジウム発表論文

シンポジウム (1) 病院経営の今後のあり方

病院経営に関して～臨床工学技士の立場から～	久保 茂	6
-----------------------------	------	---

● ワークショップ発表論文

ワークショップ (2) リスクマネジメントの取組み

臨床工学技士が行なう Patients Safety Management の取組み	北野 達也	7
--	-------	---

ワークショップ (2) 水質管理の新しい取り組みに向けて

当大学における水質管理～2次汚染対策を中心に～	荒川 昌洋	9
透析液の水質管理と今後の課題	及川 一彦	11

● 一般演題発表論文

血小板減少と全身症状の悪化を呈した TMA4 症例に対して実施した血漿交換療法 (PE) の効果

.....	萱島 道德	13
市販のポンプと圧力計による DHP システムの構築	松下 誠吾	15
当大学での二重濾過血漿交換療法 (DFPP) の手法	荒川 昌洋	17
当院のCRRTにおける臨床工学技士の業務とその改善	岩崎 純子	19
高性能セルローストリアセテート膜透析器の検討	大澤 貞利	21
直接血液灌流型 β 2-MG 吸着器リクセルの使用経験－S-35 および S-15 の比較－	阪口 剛至	23
維持透析患者アクセス管理における臨床工学技士の取組み	猪又 扶美	26
潰瘍性大腸炎に対する白血球系細胞除去療法－アダカラムとセルソーバの比較検討－	江刺家理恵	28
吸着型血液浄化器アダカラムとセルソーバ EX における有害事象の比較	三浦 伸一	30
大動脈脈波速度 (長谷川法 PWV) は維持透析患者の生命予後因子になりえるか	内野 順司	32
透析患者の動脈硬化評価にオシロメトリック法脈波速度は有用か？ －動脈硬化因子及び長谷川法との比較－	内野 順司	35
潰瘍性大腸炎におけるアダカラム、セルソーバの使用経験	兼田 尚枝	38
カプラ部が透析液へ及ぼす汚染度と O リングの汚染状況	城木 章年	40

RO 前処理システム (PUF-02) の長期使用経験	大槻 剛	43
人工透析ライン洗浄剤ダイアクリンの使用経験	前田 充徳	45
ハンドヘルド呼吸モニターを利用した花粉症マスク素材の通気抵抗測定法	楠本 雅章	47
TMP7Fr (40cc) バルーンの臨床使用経験	上屋敷繁樹	49
人工股関節置換術における術中自己血回収術の効果	小林 靖雄	51
人にやさしい血圧測定とは? —自動血圧計と看護師による手動血圧測定の違い—	小田 正美	53
体圧測定装置による圧分散効果の検討	浦志 崇久	55
医療ガス配管圧縮空気中の酸素濃度上昇に関する報告	田中 恵介	57
人工呼吸器の老朽化に対する管理業務について	楠本 繁崇	59
人工鼻フィルタにおける流量抵抗の検討	木村 政義	61
一酸化窒素 (NO) 吸入療法における臨床工学技士の役割	佐藤 茂	63
在宅人工呼吸器へ移行するためのプロセス作成を通じて	木下 亮雄	65
当院における人工呼吸器の管理体制の見直し—臨床工学技士の立場から—	近藤 千裕	67
大動脈狭窄に伴う心不全で血小板増多症の体外循環の経験—低プライミング回路での体外循環—	上屋敷繁樹	69
常温体外循環と常温拍動体外循環—肝・脾機能の比較—	上屋敷繁樹	71
PCPS 使用下にカテーテル血管内治療を施行した帝王切開術後、急性肺塞栓症の 1 例	野口 幸	73
小児用人工肺 CAPIOX BABY-RX の臨床使用経験	小塚アユ子	75
当院の植え込み型ペースメーカー業務の第一歩	大岩 成明	78
植え込み型ペースメーカー管理の重要性	中川孝太郎	80
労作時の心房レート確認が必要であったと考えられるペースメーカー植込み症例	今村 博明	82
人工呼吸器用呼気弁の誤接続防止対策—NMI社製ニューポート用呼気弁について—	古山 義明	84
酸素加湿流量計の供給流量誤差について	松岡 秀和	86
当院における人工呼吸器使用中点検	野村知由樹	88
人工呼吸器の警報に連動したナースコールシステム	辻 章子	90
SIM 式人工心肺装置シミュレータの作成と操作	岡野慎一郎	92
当院の安全な小児体外循環システム確立のための工夫と課題	吉田 譲	94
当院の心臓カテーテル検査データベースについて	船瀬 公博	97
IABP 駆動装置 CORART BP21 外部入力心電図のアルゴリズムと PHILIPS 社製		
モニタのミスマッチについて	尹 成哲	99
院内における体外式半自動除細動器 (AED) の使用環境に関する検討	八木 克史	101
新生児・未熟児センターでの ME 機器、耐震対策に関する検討	鈴木 克尚	104
体動・低灌流・低酸素時のパルスオキシメータの性能比較	黒坂 美喜	107
透析施設での除細動器の管理について	北濃 幹人	109
臨床工学技士の知名度について	大島 浩	111
事故防止に向けた『ヒヤリ・ハットなどノート』を作成して	荒田 晋二	113
秋田県臨床工学技士会会員の現況	守澤 隆仁	115
高度医療専門職養成プロジェクトにおける専任臨床工学技士の役割	北野 達也	117

当院における中央管理の現状と課題	林 国人	119
当院におけるME管理、運用の検討	大沢 光行	121
当院における医療機器保守管理の現状について	石原 太輔	123
当院における新たな ME 機器管理方法～院内 LAN 使用による ME 機器管理～	並木 暢也	125
当院における ME 機器マニュアルの実践報告	堀田 直樹	127

※お断り：誌面の都合により未掲載の論文につきましては、次号に掲載いたします。

● 臨床工学技士実態調査の結果報告 130

● 第2回日本臨床工学技士教育研究会“臨床工学技士の臨床実習を考える”開催報告

第2回日本臨床工学技士教育研究会プログラム		138
第2回日本臨床工学技士教育研究会“臨床工学技士の臨床実習を考える”開催報告	内野 順司	139
臨床実習の実態と問題点	金子 岩和	140
当院における臨床実習の現状～実習担当者の問題を中心に～	青木 郁香	141
臨床工学技士臨床実習に関するアンケートの集計結果		142
・ 臨床工学技士養成校に関するアンケート		142
・ 臨床工学技士臨床実習受け入れ施設に関するアンケート		151
第2回日本臨床工学技士教育研究会に参加して	石川久美子	159
第2回日本臨床工学技士教育研究会に参加して	塩沢 勉	159
・ 社団法人日本臨床工学技士会会誌投稿規定		162
・ 編集後記・奥付		163
・ 広告索引		165